

有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名「都市再生に寄与する空地・空家の活用方策に関する研究」	
2. 有識者意見の概要及び対応 有識者 中川雅之氏 日本大学経済学部 教授 有識者 樋口 秀氏 長岡技術科学大学環境・建設系 准教授	
意見の概要	意見に対する対応
<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナリティのある研究である。特に、地区（ミクロ）レベルにおける、空地の発生と消滅に関して、時系列的变化の把握、登記簿謄本による取得要因や権利変化の分析、さらに現地ヒアリング調査により、その詳細実態の把握とともに要因について分析しており、今後の空地に関する施策検討に有用な調査である。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・全国（マクロ）レベルの実態把握・分析、将来予測については、データ密度・確からしさに不安があるため、データの限界や試行であることを明記しておいた方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を受けて、報告書に反映する。
<ul style="list-style-type: none"> ・郊外住宅団地において、空地が減少しているとの調査結果は、一般的に言われていることと異なりインパクトが強い。そのため実証データについて、明示しておくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を受けて、報告書に反映する。
<ul style="list-style-type: none"> ・他に例をみない貴重な調査で、興味深い。同じ地区を継続して調査することでさらに分析が深まると思われるので、継続調査を行って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、本省担当部局との連携を図る
<ul style="list-style-type: none"> ・地区レベルの要因把握とメカニズム分析については、宅地→空地化、空地→宅地化、空地継続の各地区におけるそれぞれの比率があるとイメージがつかみやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を受けて、報告書に反映する。
<ul style="list-style-type: none"> ・地区レベルの将来動向については、現状と予測後の数値を明記するとわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を受けて、報告書に反映する。

有識者意見の概要及び意見に対する対応